



保土谷化学グループの事業概要



機能性色素セグメント

<https://www.hodogaya.co.jp/products/segment01/>



3つの強み

保土谷化学のDNAである「有機合成技術」等を駆使し、グローバルな顧客ニーズと環境対応を具現化する力

有機EL材料の
トータルサプライヤーとしての
技術を次世代医薬向け
バイオ材料にも展開

メタルフリー化により
環境にも対応した、
世界シェアでトップクラスの
アルミ着色用染料

食の安全を支える
天然色素と世界オンリーワンの
カラートリートメント染料

事業内容

● 有機EL材料

スマートフォンやタブレット、スマートウォッチ等のディスプレイとしてもその需要が拡大中であり、今後はテレビや車載用分野への展開が期待されています。また、有機EL材料の応用技術として独自開発したバイオ材料は、これまでの「診断キット材料向けオリゴ核酸製品」に加えて、次世代医薬品である「核酸医薬原料向けオリゴ核酸製品」へも展開しております。

● イメージング材料

複写機やプリンターの機能発揮になくてはならない重要な材料であり、OA環境の高精度化に貢献しております。

● 色素材料

独自の技術による染料製品が、高品質品として国内外から高い評価を得ております（アルミ着色用、文具用、カラートリートメント用、カラーフィルター用等）。

● 天然色素

食品に色を添え、食欲を増進させる等重要な役目を担っており、保土谷化学はそのパイオニアとして、食品の演出に貢献しております。また、家電等の着色にも使用されており、環境に配慮した用途を拡大しております。

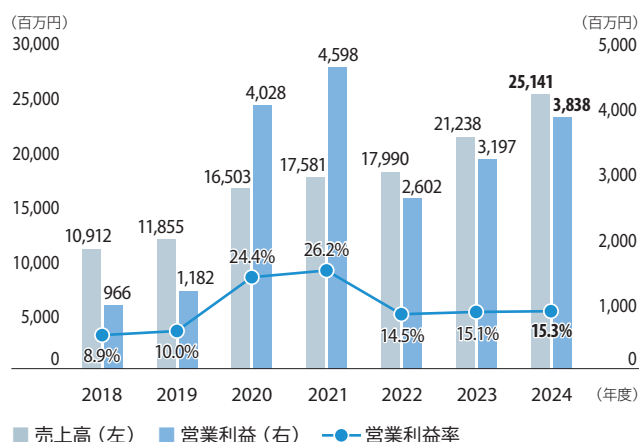
● 中期経営計画の進捗

有機EL材料事業は、スマートフォンを中心としたディスプレイ分野での需要拡大や新製品での採用等により販売が拡大しております。海外での材料販売の拡大を受け、工場・設備の新設および増強や、半導体用材料分野での設備投資を進め、さらなる事業拡大を図ってまいります。

有機EL材料の技術を応用したバイオ事業は、韓国の新拠点BioParkが昨年稼働開始し、診断キット材料向けオリゴ核酸製品の拡販や、次世代医薬品である核酸医薬分野への新たな事業展開を進めております。

色素材料事業は、アルミ着色用染料の需要が好調に推移しております。引き続き、安定した供給体制の確立や、環境対応型製品の開発等による販売拡大に向け取り組んでまいります。

売上高・営業利益・営業利益率



関連するグループ会社：SFC CO., LTD.

事業内容：有機EL材料、電子材料およびバイオ材料等の製造・販売

所在地：89, Gwahaksaneop 5-ro, Ochang-eup, Cheongwon-gu
Cheongju-si, Chungcheongbuk-do, Korea 28122
ホームページ：<https://sfc-dye.com/>



保土谷化学グループの事業概要

機能性樹脂セグメント

https://www.hodogaya.co.jp/products/segment02/



3つの強み 「ホスゲン化技術」等を駆使し、環境対応も可能なスペシャリティ品をグローバルに展開できる力

世界トップクラスの有機合成技術の駆使により環境への配慮も可能なウレタン原料

特定化学物質未含有による環境対応と安全で確実な施工を可能とする防水材

生産・販売・研究開発の三位一体活動によるホスゲン化技術を活かした医薬中間体

事業内容

● 樹脂材料

ウレタンに柔軟性や弾性（ゴムのような特性）を持たせるために必要な、PTGと呼ばれる材料が中心となります。ウレタンは、衣類、自動車部材、レジャー用品等の幅広い分野で使用されております。なお、環境に優しく、従来と同等の品質を保つ製品として、主原料を石油系から植物由来に切り替えたバイオPTGに注力しております。

● 特殊化学品

長年にわたり蓄積してきた有機合成技術や独自のホスゲン化技術等を駆使した中間材料や添加剤です。医薬品、化粧品分野など、さまざまな分野のお客様の特殊な要望に、きめ細かにお応えしております。

● 建築材料

他社に先駆けて開発されたウレタン塗膜防水材がその主軸です。ウレタン塗膜防水材は、オフィスビル、学校の屋上や大型店舗の立体駐車場の屋上防水等、幅広く使用されております。

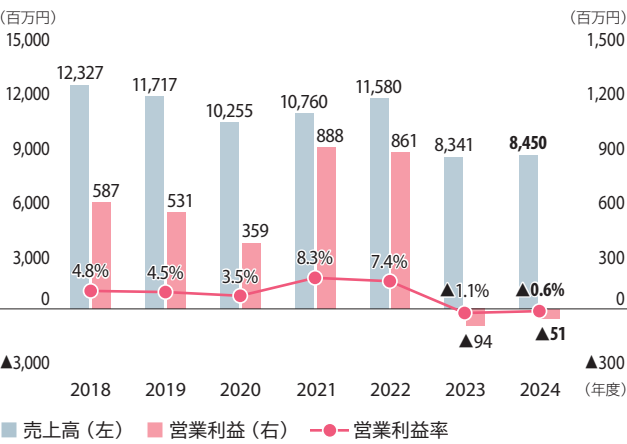
● 中期経営計画の進捗

樹脂材料事業は、一部製品で販売増があったものの、ウレタン材料の市況低迷の影響が継続し減収となりました。今後は、バイオ化製品等の販売拡大による収益力強化を目指してまいります。

特殊化学品事業は、剥離材および医薬向けの需要が海外で回復の一方、その他用途で需要が減少し減収となりました。今後は、特に需要好調の特殊イソシアネートの増設検討や、将来を見据えて設置した試作品生産用ベンチスケール設備の活用で新規市場開拓を推進してまいります。

建築材料事業は、新製品の堅調な販売や大型施設等でのウレタン防水工事の受注により増収となりました。今後とも、次世代防水材等を販売の軸に、着実な事業強化を目指してまいります。

売上高・営業利益・営業利益率



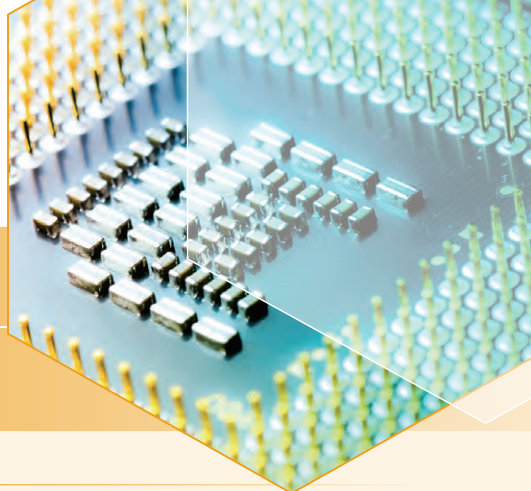
関連するグループ会社：保土谷建材株式会社
事業内容：土木・建築材料の製造・販売

所在地：〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号
TEL 03-6852-0478 (大代表)
ホームページ：https://www.hodogaya-cp.com



基礎化学品セグメント

https://www.hodogaya.co.jp/products/segment03/



3つの強み 長年培った過酸化水素の「製造技術」を基に、衣食住すべてのステージでの新規用途へ展開する発想力

蓄積してきた経験・知見に基づく過酸化水素製造技術により、食品分野から半導体まで多種多様な分野へ展開

漂白剤、洗浄剤、食品殺菌、動物薬等、幅広い分野への誘導体の展開を実現する研究開発力

クリーンな物性を活かして、土壌改良等、地球環境に貢献する用途展開を可能にする発想力

事業内容

- 保土谷化学では50年以上にわたって、過酸化水素およびその誘導品を開発、製造、販売しております。
- 過酸化水素は、水と酸素に分解するという特徴から、環境に優しくクリーンな製品として、幅広い用途で皆様の生活をサポートしております。過酸化水素は、従来からの紙パルプの漂白や工業薬品向けだけではなく、動物薬などへの展開により、積極的に販売分野を拡大しております。

- 過酸化水素の誘導品として、過炭酸ナトリウムと過酢酸があります。過炭酸ナトリウムは、漂白剤や洗浄剤として使用されており、過酢酸は、日本で初めて食品分野向けの製造許可を取得し、現在その展開を加速しております。

● 中期経営計画の進捗

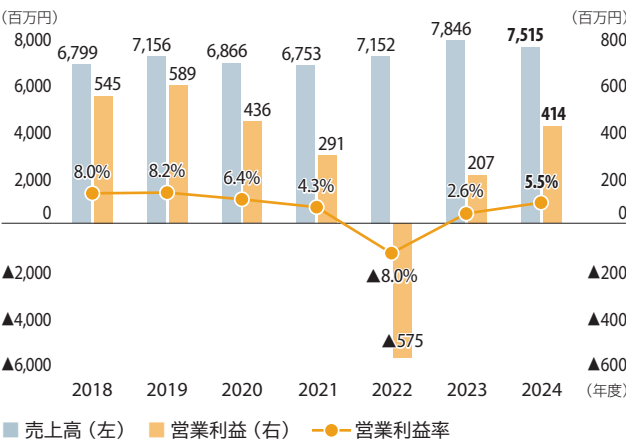
過酸化水素は、紙パルプ向けでの販売増が見られたものの、半導体向けでの需要回復が遅れたことにより、前期並みとなりました。

過炭酸ナトリウムは、漂白剤向けで減収となりましたが、昨年度改善した収益体制の維持・拡大に向けて、今後も適切な設備投資と拡販活動を進めてまいります。

過酢酸は、サニテーション用途での採用範囲の拡大と、食品用途での新規顧客獲得に向けたアプローチに取り組んでまいります。

今後とも、市場の需要動向を見据えた各種コストダウンの推進と販売拡大により、さらなる収益の最大化を目指してまいります。

売上高・営業利益・営業利益率



関連するグループ会社：桂産業株式会社
事業内容：化学品の仕入・販売

所在地：〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号
TEL 03-6852-0490 (大代表)
ホームページ：https://www.katsura-ks.co.jp/



保土谷化学グループの事業概要

アグロサイエンスセグメント

https://www.hodogaya.co.jp/products/segment04/



3つの強み 「製剤化技術」を多様な生活シーンに役立つ魅力ある製品として実現する開発力

- ニーズに合わせた新製品開発による国内シェアトップクラスの家庭園芸用除草剤
- 生活シーンを支えるため常に新しい製品を生み出す発想力と提案力
- 農業用酸素供給剤等の展開により農業を取り巻く環境の改善を実現する研究開発力

事業内容

- アグロサイエンスセグメントの製品は、農耕地から生活環境、鉄道、山林、ゴルフ場での雑草、病害虫管理、環境保全に至るまで、幅広い分野で貢献しております。
- 自社原体を中心とした各種原体を活用し、現地、お客様のニーズに合わせ使いやすさと安全性を兼ね備えた新たな製剤開発を継続しており、とりわけ、家庭園芸や緑地管理で使用される除草剤は、業界トップクラスのシェアを誇ります。
- 気象条件等により悪化した土壌環境を改善し、作物の安定生産につなげていくための土壌改良資材として、酸素供給剤の製造ならびに市場開拓も行っております。

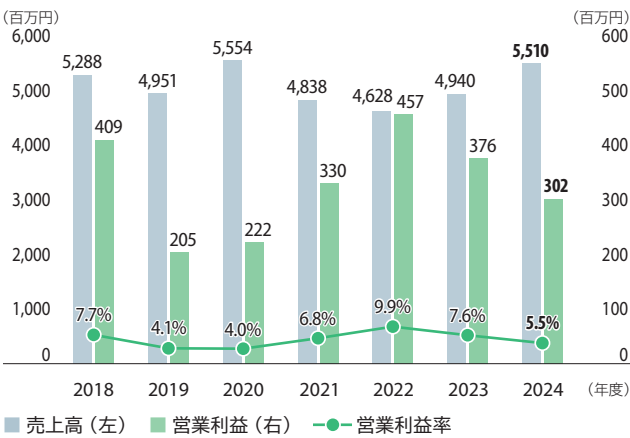
●中期経営計画の進捗

鉄道用除草剤や家庭園芸向け除草剤の需要が好調に推移するとともに、ゴルフ場向け除草剤での需要が回復し、大幅な増収となりました。

基礎化学品およびアグロサイエンスのセグメントにまたがる部分では、過酢酸の用途開発における市場認知の拡大活動等を進めております。また、増強した農業用過酸化水素生産設備の活用による事業拡大と、さらなる増強を視野に入れた営業活動を展開してまいります。

今後とも事業収益を維持拡大すべく、安定供給体制の構築や新規商流の開拓、他社との協業等も含め、魅力ある商品の投入に向け、取り組んでまいります。

売上高・営業利益・営業利益率



関連するグループ会社：保土谷UPL株式会社
事業内容：農業の製造・販売
所在地：〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号
TEL 03-6852-0500 (大代表)
ホームページ：http://www.hodogaya-upl.com/



関連するグループ会社：保土谷アグロテック株式会社
事業内容：農業の製造・販売
所在地：〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号
TEL 03-6852-0510 (大代表)
ホームページ：http://www.hodogaya-agrotech.co.jp/



物流関連セグメント

https://www.hodogaya.co.jp/products/segment05/



3つの強み 化学メーカーグループとしての危険物・化学品の「取り扱いノウハウ」を活かし、安心・安全を運ぶ力

- 化学品、医薬品等の危険物取り扱いノウハウを活かし、幅広い物流事業領域に拡大
- 横浜・郡山・南陽の好立地を活かしたエリア最大規模の保管・陸海空輸送サービス
- 南陽事業所におけるISOタンクコンテナデポを活用し国際複合一貫輸送を提供

事業内容

- 物流関連事業は、保土谷化学グループが100年以上蓄積してきた、危険物・化学品等の取り扱いのノウハウを活かしており、化学業界を超えた幅広い分野のお客様から評価をいただいております。
- 横浜・郡山・南陽の3カ所に大規模設備を保有し、特に、横浜営業所は日本を代表する横浜港の近隣という好条件から、輸出入の拠点として多くのお客様に活用いただいております。郡山、南陽においても化学品、また重量物、機械、プラント等、貨物に適した保管・輸送サービスを行っております。
- 2021年10月より、南陽営業所において、国内では稀少な、危険物・毒劇物のISOタンクコンテナを取り扱う保管・加温事業を開始いたしました。

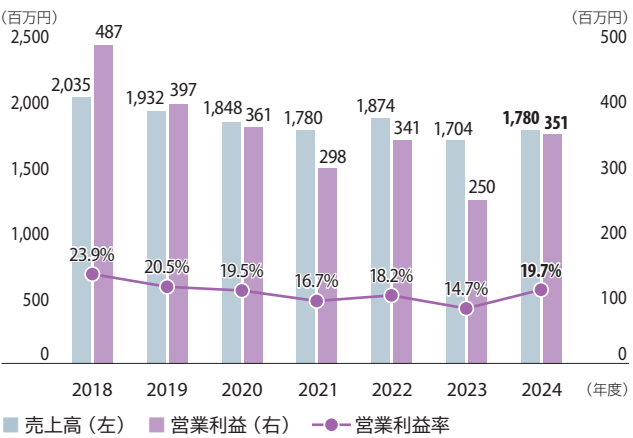
●中期経営計画の進捗

輸出等の荷動きの堅調な推移や、国内における危険物保管事業での取り扱い増加により、増収となりました。引き続き、事業所ごとの重点施策に取り組んでまいります。

郡山では、設備投資による保管温度管理品の獲得を進めております。横浜では、立地の良さを活かして優良商材案件や輸出入案件の取り扱いを増やすことにより、収益効率化を図ります。南陽では、2021年10月より開始したISOタンクコンテナ保管事業の拡大を目指してまいります。

今後とも、化学メーカーにおける物流事業として、危険物・毒劇物の取り扱いノウハウを活かした事業展開と、さらなる顧客獲得に向け、取り組んでまいります。

売上高・営業利益・営業利益率



関連するグループ会社：保土谷ロジスティックス株式会社
事業内容：倉庫業、貨物運送取扱業

所在地：〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号
TEL：03-6852-0520 (大代表)
ホームページ：https://www.hodogaya.co.jp/hlc/

